

議員名	主な質問項目	掲載頁
水口 淳	県道沼津土肥線の整備促進	4
尾藤 正弘	マイナンバーカード普及、建設発生土の処理、市営住宅の整備	4
渡部一二実	道路行政の現状と課題、幼児保育現場の改善に関する考え	5
高橋 達也	文化振興についての取組	5
加藤 明子	自治会活動、地区コミュニティ活動、終活支援、終活登録	5
小澤 隆	情報発信、コンテンツツーリズム、ミサイル発射時の職員避難	5
小泉 宣子	出産・子育て応援交付金事業、不登校児童生徒への支援	6
大場 豪文	NHK大河ドラマの観光振興、原・浮島地区の文化財	6
江本 浩二	新しいごみ処理の方法、ごみ処理施設の建設計画	6
山下富美子	流木等の廃棄物処理、DVの相談状況、園児置き去り事故	6
岡田 進一	学校給食の無償化	7
川口 三男	本市の産業振興によるまちづくりについて	7
梅沢 弘	ソフト事業とハード事業、給食費無償化と鉄道高架事業	7

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.7の用語解説を御覧ください。

市政について
問う！

第十五回（十一月）定例会では、十三人の議員が市政について質問しました。

一般質問



全ての質問項目(通告一覧)はこちら

既存民間賃貸住宅を活用した市営住宅の整備は

問 既存民間賃貸住宅を活用した借上方式による市営住宅の整備は、**答 建設部長**／本市では、平成二十九年度に沼津市営住宅の整備・管理に関する実施計画を策定し、人口や世帯数の推計から将来的な需要を的確に把握し、適切な供給量・管理戸数とすることを基本目標に整備を進めている。令和四年三月に実施計画を改訂し、供給量が調整しやすい既存民間賃貸住宅を活用した借上方式による住宅の確保を計画に盛り込んでおり、今後も、将来的な需要減に対応しながら地域の需要に応じた供

給量を調整するよう検討していく。**問** 本市が発注する工事により生じた建設発生土の処分について、本市独自の処分場を建設する考えは。**答 建設部長**／公共工事による建設発生土のための本市独自の処分場の建設については、用地の選定や地元への理解、処分場の管理など、多くの課題があり難しいと考える。建設発生土の処分は近隣市町においても共通の課題であることから、今後、近隣市町と協議を進め、適切な建設発生土処分場の確保に向けて、検討していく。

尾藤 正弘



県道沼津土肥線の整備状況は

問 令和四年度における県道沼津土肥線の整備状況は。**答 建設部長**／県道沼津土肥線の整備は、県を主体として平成二十五年度に策定された整備方針に基づいて進められており、令和四年度は、西浦の足保地区及び古宇地区の道路拡幅整備が実施されている。整備中の箇所が完了次第、順次、未整備箇所の整備が進められる予定である。**問** 県道沼津土肥線の拡幅整備完了後の観光交流人口の動向への認識は。**答 建設部長**／本道路は、駿河湾越しに富士山の絶景を望むことができ

る風光明媚な観光道路であり、行楽シーズンには交通車両が増加すること。そのため、本道路が拡幅されることにより、安全で円滑な交通環境が確保され、観光交流人口の増加につながるものと考えている。



▲ 県道沼津土肥線から望む海越しの富士山

水口 淳

